

変更点がひと目でわかる！2015年春 千葉公立「選抜・評価方法」一覧

『市進高校受験ガイド/千葉・近県版』掲載校

数値…満点（数値）…他項目とあわせた満点 ②③④⑤…段階別評価(②は2段階評価) ○…満点・評価方法不明 評定は算式1を使用 変更点は (14年→15年)で表示

前期選抜														後期選抜					
学校名	学科	学区	学力 検査	調査書		2日目検査							志願 理由 書	選抜の方法(流れの概略) 学…学力検査 評…評定 調…調査書 面…面接 自…自己表現 作…作文 小…小論文 適…適性検査 独…独自問題 集…集団適性検査 志…志願理由書			学力 検査	K値	必要に応 じて実施 する検査
				内申 (評定)	その他	面接	自己 表現	作文	小論文	適性 検査	独自 問題	その他							
あ	姉崎	普	9	500	135	90	(60)						●→	(60)はあわせて60点満点。500+135+90+60点満点で総合判定。	500	2	面接		
	我孫子	普	3	500	135	●				100			●→	500+135+100点満点順に並べ、調とあわせて総合判定。	500	1	面接		
	我孫子東	普	3	500	135	●	③						●	面の評価でグループに分け、学・調で順位を付け、志・学・調・面で総合判定。	500	2	面接		
い	泉	普	1	300 (一期)	180	50	③		③ (一期)			180 (二期)	●	一期:面のABC評価で3グループに分け、それぞれ学300+調230点満点の順に作・志を加味して総合判定。 二期:面のABC評価で3グループに分け、それぞれ独180+調230点満点の順に志を加味して総合判定。	—	—	独・面		
	磯辺	普	1	500	135	45	③						●→	学・調とも順位が定員80%以内を合格。残りは500+135+45点満点で面などを考慮。	500	1	面接		
	市川昴	普	2	500	135	61	54						●→	500+135+61+54点満点で総合判定。	500	1	面接		
	市川東	普	2	500	135	20	15						●→	学(500)+面(15)と調(135+20)とも順位が定員80%以内を合格。残りは500+135+20+15点満点の順で総合判定。	500	1	—		
	市川南	普	2	500	135	42	③			60			●→	500+135+42+60点満点の順位が定員の80%以内を合格。残りは各資料に問題のない者から500+135+42+60点満点順に合格。	500	2	面接		
	市原	普	9	500	135	65		300					●→	500+135+65+300点満点の順に並べ、総合判定。	500	1	面接		
	市原緑	普	9	500	40.5 →135	40	50	100				③	●	「500+135+40点満点」「50+100点満点」とも順位が定員80%以内を合格。残りは500+135+40+50+100点満点で各資料に問題ない者から合格。	500	1	面接		
	市原八幡	普	9	500	135	60		75					●→	500点満点と135+60+75点満点とも順位が定員80%以内を合格。残りは500+135+60+75点満点をもとに総合判定。	500	1	面接		
	市立稲毛	普	1	500	135	● →30	③ →30						●→	評と学+面とも順位が定員80%以内を合格。残りは500+135+30+30点満点の順に総合判定。	500	1	—		
	市立稲毛	国	1	500	135	● →30	③ →30						●→	評と学+面とも順位が定員80%以内を合格。残りは500+135+30+30点満点の順に総合判定。	550	1	—		
	印旛明誠	普	4	500	135	65	20						●→	500+135+65+20点満点の順位が定員の80%以内を合格。残りは500+135+65+20点満点で順位を付け、各資料に問題ない者から合格。	500	1	面接		
	浦安	普	2	500	135	65	180			120			●→	総合点500+135+65+180+120点満点の順位が定員80%以内を合格。残りは総合点順に面・適を特に考慮。	500	1	面接		
う	浦安南	普	2	500	135	●	④						●	学・評とも順位が定員80%以内を合格。残りは総合判定。	500	3	面接		
	生浜	普	1	500	135	● →50	④→ (300)	④→ (300)					●	(300)はあわせて300点満点。500+135+50+300点満点の順で調などに問題のない者を合格。	500	1	面接		
	大多喜	普	7	500	135	65	300						●→	500+135+65+300点満点で、各資料に問題のある者について審議しながら判定。	500	1	面接		
	小見川	普	5	500	135	115				200			●→	500+135+115+200点満点で順位を付け、各資料に問題のある者について審議しながら判定。	500	1	面接		
	柏	普	3	500	135	10	③						●→	学・調とも順位が定員80%以内を合格。残りは学+調で順位を付けて総合判定。	500	1	—		
	柏	理	3	600	135	15	③						●→	学・調とも順位が定員80%以内を合格。残りは学+調で順位を付けて総合判定。	600	1	—		
か	市立柏	普	3	500	135	20	(180)			(180)			●→	(180)はあわせて180点満点。500+135+20+180点満点で総合判定。	500	1	面接		
	柏井	普	1	500	135	●		150					●→	500+135+150点満点の上位から特に問題のない者を合格。	500	1	面接		
	柏中央	普	3	500	135	40	③						●→	学・調とも順位が定員80%以内を合格。残りは500+135+40点満点の順位、各教科の得点、調・面で総合判定。	500	1	面接		
	柏の葉	普	3	500	135	65	③						●	500+135+65点満点で順位を付け、面・調・志で総合判定。	500	1	面接		
	柏の葉	情	3	600	135	65	③						●	600+135+65点満点で順位を付け、面・調・志で総合判定。	500	1	面接		
	柏南	普	3	500	135	30	③						●→	500+135点満点をもとに定員50%まで合格。残りは500+135+30点満点で総合判定。	500	1	面接		
	鎌ヶ谷	普	3	500	135	65 →35			③				●→	500+135+35点満点で順位を付け、作を加味して総合判定。	500	1	—		
	鎌ヶ谷西	普	3	500	270	80	90	120					●→	500+270+80+90+120点満点で判定。	500	2	面接		
	木更津	普	9	500	135	●	③						③→	学・評とも順位が定員80%以内を合格。残りは500+135点満点で順位を付け、調・面とあわせて総合判定。	500	1	—		
き	木更津東	普	9	500	135	20		100					●→	500+135+20+100点満点で順位を付け、各資料に問題ない者から合格。	500	1	—		
	君津	普	9	500	135	●→30	④						●→	学・評とも順位が定員の80%以内を合格。残りは500+135+30点満点で順位を付け、面・調とあわせて総合判定。	500	1	—		
	行徳	普	2	500	135	●	108						●	500+135+108点満点の順位が定員80%以内を合格。残りは総合判定。	500	3	面接		
け	京葉	普	9	500	135	45		200					●→	学・調・自とも順位が定員の80%以内で、調・学に問題のない者から合格。残りは500+135+45+200点満点の順に並べ、調・自などで総合判定。	500	1	面接		
	検見川	普	1	500	135	20			③				●→	学の順位が定員の150%以内で特活20点満点の上位から定員の3分の1を選抜。残りは学・評で順位を付け、各資料に問題ない者から合格。	500	1	面接		
	国府台	普	2	500	135	25			④				●→	学・調とも順位が定員80%以内を合格。残りは500+135+25点満点で順位を付け、調・作とあわせて総合判定。	500	1	—		
こ	小金	普	2	500	135	25			10				●→	学・調とも順位が定員80%以内を合格。残りは500+135+25+10点満点をもとに総合判定。	500	1	—		
	国分	普	2	500	135	15	③						②→	学・調(135+15)とも順位が定員80%以内を合格。残りは500+135+45(15×3)点満点で順位を付け、調・面とあわせて総合判定。	500	1	—		
	犢橋	普	1	500	135	210	75			80			●→	500+135+210+75+80点満点の順位が定員の80%以内を合格。残りを500+135+210+75+80点満点で総合判定。	500	1	面接		
さ	佐倉	普	4	500	135	●	③						●→	500+135点満点の上位から調の問題点、調と面Cを審議しながら判定。	500	1	—		
	佐倉	理	4	600	135	●	③						●→	600+135点満点の上位から調の問題点、調と面Cを審議しながら判定。	600	1	—		
	佐倉西	普	4	500	135	20				100			●→	500+135+20+100点満点の順位が定員80%以内を合格。残りは総合判定。	500	1	面接		
	佐倉東	普	4	500	135	40	25	60					●→	総合点500+135+40+25+60点満点の順位が定員80%以内を合格。残りは総合点をもとに総合判定。	500	1	面接		
	佐倉南	普	4	500	135	40				130			●→	135+40+130点満点・500点満点とも順位が定員80%以内かつ評78以上を合格。残りは500+135+40+130点満点の順位と調・適で判定。	500	1	面接		
	佐原	普	5	500	135	●			③				●→	500+135点満点で順位を付け、作・調を参考に総合判定。	500	1	—		
	佐原	理	5	600	135	●			③				●→	600+135点満点で順位を付け、作・調を参考に総合判定。	600	1	—		
	佐原白楊	普	5	500	135	50			50				●→	学・調とも順位が定員の80%以内を合格。残りは500+135+50+50点満点で総合的に判定。	500	1	—		
	沼南	普	3	500	135	45+α	90	200					●→	500+135+45(関東大会出場などで45を超える場合もあり)+90+200点満点の上位から総合判定。	500	2	面接		
し	沼南高柳	普	3	500	270	30	100						●→	500+270+30+100点満点の順位をもとに総合判定。	500	2	面接		
	白井	普	4	500	135	100		200					●→	500+135+100+200点満点の順位をもとに総合判定。	500	1	面接		
	関宿	普	3	500	180	120	③	240					②→	500+180+120+240点満点の順位が定員80%以内で面A(ABC評価)を合格。残りは面をもとに総合判定。	500	3	面接		
せ	匝瑳	普	5	500	135	45			③				●→	500+135+45点満点で順位を付け、作C(ABC評価)を審議しながら判定。	500	1	—		
	匝瑳	理	5	600	135	45			③				●→	600+135+45点満点で順位を付け、作C(ABC評価)を審議しながら判定。	600	1	—		
	匝瑳	英	5	550	135	45			③				●→	550+135+45点満点で順位を付け、作C(ABC評価)を審議しながら判定。	550	1	—		
そ	袖ヶ浦	普	9	500	135	●	(④)	(④)					●→	(④)はあわせて4段階評価。学+調で順位が定員50%以内、面・自A(ABCD評価)で学+調の順位が定員以内を合格。残りは学+調で順位を付け、各資料に問題のない者から合格。	500	1	—		
	多古	普	5	500	135	80	150	150					●→	500+135+80+150+150点満点で順位が定員80%以内を合格。残りは総合判定。	500	1	面接		
	千城台	普	1	500	270	30	③						●→	学・調(270+30点満点)とも順位が定員の80%以内を合格。残りは学・調・面で総合判定。	500	1	面接		
ち	千葉	普	1	500	135	●			③				●→	学・作で順位を付け、調とあわせて総合判定。	500	1	—		

「選抜の方法」は概略をまとめたものです。「学力検査で〇点未満の教科がある場合は審議の対象」「欠席〇日以上は審議の対象」などの詳細は各校の「選抜・評価方法」をご確認ください。

数値…満点（数値）…他項目とあわせた満点 ②③④⑤…段階別評価（②は2段階評価） ○…満点・評価方法不明 評価は算式1を使用 変更点は（14年→15年）で表示

			前期選抜													後期選抜		
学校名	学科	学区	学力検査	調査書		2日目検査							志願理由書	選抜の方法(流れの概略)	学力検査	K値	必要に応じて実施する検査	
				内申(評定)	その他	面接	自己表現	作文	小論文	適性検査	独自問題	その他						
市立千葉	普	1	500	135	15				③				●→	学・評とも順位が定員70%以内で、調・学の教科別得点、小に問題のない者を合格。残りは500+135+15点満点をもとに総合判定。	500	1	—	
市立千葉	理	1	500	135	15				③				●→	学・評とも順位が定員70%以内で、調・学の教科別得点、小に問題のない者を合格。残りは500+135+15点満点をもとに総合判定。	600	1	—	
千葉北	普	1	500	135	40	③							●	500+135+40点満点の順位と面で判定。残りは学・調・面・志で判定。	500	1	—	
千葉女子	普	1	500	135	●	②							●→	学+調で順位を付け、調・面を考慮して判定。	500	1	—	
千葉西	普	1	500	135	33	10							●→	学・評とも順位が定員80%以内を合格。残りは500+135+33+10点満点をもとに総合判定。	500	1	—	
千葉東	普	1	500	54	5			→④				100→	●→	500+54+5点満点で順位を付け、作を加味して判定。	500	1	—	
千葉南	普	1	500	135	30	③							●→	500+135+30点満点で順位を付け、面を考慮して総合判定。	500	1	—	
長生	普	7	500	40.5	(10)→10				③				(10)→	500+40.5+10点満点の順に、調・学・作に特に問題ない者を内定。	500	1	—	
長生	理	7	600	40.5	●				③				●→	600+40.5点満点の順に、調・学・作に特に問題ない者を内定。	600	1	—	
津田沼	普	2	500	135	●		50						●→	500+135+50点満点で順位を付け、調を加味して総合判定。	500	1	—	
東金	普	6	500	135	30		30						●→	500+135+30+30点満点の順位が定員の80%以内を合格。残りは500+135+30+30点満点で各資料に問題ない者から合格。	500	1	—	
東金	国	6	550	142.5	30	30							●→	500+135+30+30点満点の順位が定員の80%以内を合格。残りは500+135+30+30点満点で各資料に問題ない者から合格。	550	1	—	
土気	普	1	500	135	46					100			●→	500+135+46+100点満点で順位を付け、資料に問題のある者を審議しながら、上位より合格。	500	1	—	
富里	普	4	500	270	21					60			●→	学または調の順位が定員20%以内と、適A(ABCDE評価)を合格。次に500+270+21+60点満点で順位を付け、各資料に問題のない者から合格。	500	2	面接	
流山おおたかの森	普	3	500	135	110	30							●→	学・評とも順位が定員80%以内を合格。残りは500+135+110+30点満点で総合判定。	500	1	面接	
流山おおたかの森	国	3	550	135	130	(50)				(50)			●→	(50)はあわせて50点満点。学・評とも順位が定員80%以内を合格。残りは550+135+130+50点満点で総合判定。	550	1	面接 適性検査	
流山北	普	3	500→300	270→135	230→265	③	③	→③					●→	一期：面・自・作の評価(各ABC)でAAA～CCCの9ブロックに分け、上位ブロックから300+135+265点満点で順位を付けて判定。 二期：審議対象となる項目がない者を学+評の順に並べ、上位から合格。残りは学+評をもとに面・調を資料として総合判定。	500→300	—	面接	
流山南	普	3	500	135	65	④	300						●→	500+135+65+300点満点で順位を付け、資料に問題ある者を審議しながら総合判定。	500	1	面接	
市立習志野	普	2	500	135	●	③	③						③	市内生を総定員の20%程度まで確保。特活・面・自で高評価の者を500+135点満点で順位付け→定員の80%まで内定。残りは500+135点満点で面・自をふまえて判定。	500	1	面接	
成田北	普	4	500	135	30→50	③							●→	500+135+50点満点で順位を付け、学・調・面で総合判定。	500	1	面接	
成田国際	普	4	500	135	●					③			●→	500+135点満点で順位を付け、適・調とあわせて総合判定。	500	1	—	
成田国際	国	4	550	135	●					③			●→	550+135点満点で順位を付け、適・調とあわせて総合判定。	550	1	—	
成東	普	6	500	135	25	③							●→	学・調とも順位が定員90%以内を合格。残りは学+調で順位を付け、面を加味して総合判定。	500	1	—	
成東	理	6	600	135	25	③							●→	600+135+25点満点の順に並べ、面とあわせて総合判定。	600	1	—	
野田中央	普	3	500	135	265	150	150						●→	500+135+265+150+150点満点の順位で、その他資料もふまえて判定。	500	1	面接	
柏陵	普	3	500	135	115	90	160						●→	総合点500+135+115+90+160点満点の順位が定員80%以内を合格。残りは総合点で判定(同点の場合は自を最優先)。	500	1	面接	
東葛飾	普	3	500	135	●			⑤					●→	500+135点満点+作で順位を付け、資料に問題ある者を審議しながら判定。	500	1	—	
船橋	普	2	500	67.5	●	②							●→	500+67.5点満点で、各資料に問題のないものから合格。	500	1	—	
船橋	理	2	600	67.5	●	②							●→	600+67.5点満点で、各資料に問題のないものから合格。	600	1	—	
市立船橋	普	2	500	155	55		60						●→	500+155+55+60点満点の順位が定員80%以内を合格。残りは自を重視して学+調の順位をもとに判定。	500	1	—	
船橋北	普	2	500	135	30→35		150						●→	学・評・自とも順位が定員80%以内を合格。残りは500+135+35+150点満点で各資料に問題のない者から合格。	500	1	面接	
船橋啓明	普	2	500	135	55	15							●→	500+135+55+15点満点で判定。決まらない場合は500点満点→55点満点→135+55点満点の優先順位で各資料に問題ない者から合格。	500	1	面接	
船橋古和釜	普	2	500→300	135	100	100		20					●	一期：300+135+100+100+20点満点の順位が定員以内を合格。残りは総合判定。 二期：300+135+100+100点満点の順位が定員以内を合格。残りは総合判定。	500→300	—	面接	
船橋芝山	普	2	500	135	20	④							●→	500+135点満点の順位が定員70%以内を合格。残りは500+135点満点で一定以上の者から調20点満点をもとに判定。	500	1	面接	
船橋豊富	普	2	500	④135	②or④136	④84							●→	調・面のABCD評価(一部AB)で「AありCDなし」「面Dなし」「面Dあり」の3組に分け、それぞれ500+135+136+84点満点で総合判定。	500	1	面接	
船橋東	普	2	500	270	10	③							●→	500+270+10点満点をもとに面などを加味して総合判定。決まらない場合は学→評→面→行動記録の○の数→3年間欠席日数の優先順で順位を付けて判定。	500	1	面接→なし	
船橋二和	普	2	500	135	50					100			●→	総合得点500+135+50+100点満点の順位が定員80%以内で、特に問題のない者から合格。残りは総合得点をもとに総合判定。	500	1	面接	
船橋法典	普	2	500	135	60	100	300						●	500+135+60+100+300点満点をもとに志などに留意して判定。	500	1	面接	
幕張総合	普	1	500	135	●		③						●→	学が上位20%以内または自A(ABC評価)の者を500+135点満点で調を資料として総合判定。残りは500+135点満点に調を資料として総合判定。	500	1	—	
松戸	普	2	500	135	32	6							●→	500+135+32+6点満点の順位をもとに調・面などで総合判定。	500	1	面接	
市立松戸	普	2	500	135	55	④				50			●→	学と調+適とも上位者で、面・調に問題のない者を合格。残りは500+135+55+50点満点の順にその他資料もふまえて判定。	500	1	面接	
市立松戸	国	2	550	157.5	55	20		30→20					●→	550+157.5+55+20+20点満点で順位を付け、面・調に問題ない者を合格。	550	1	面接	
松戸向陽	普	2	500	135	70	40							●→	500+135+70+40点満点で順位を付け、その他の資料も踏まえて判定。	500	1	面接	
松戸国際	普	2	500	135	50→40	30							●→	500+135+40+30点満点をもとに総合判定。	500	1	—	
松戸国際	国	2	550	135	50→40	30							●→	550+135+40+30点満点をもとに総合判定。	600	1	—	
松戸馬橋	普	2	500	135	30	100	180						●→	500+135+30+100+180点満点の順位が定員80%以内を合格。残りは総合判定。	500	1	面接	
松戸六実	普	2	500	135	10	(100)→(150)	(100)→(150)						●→	(150)はあわせて150点満点。500+135+10+150点満点で順位を付けて判定。	500	1	面接	
実籾	普	2	500	135	30	③							●→	学・評とも順位が定員80%以内を合格。残りは500+135+30点満点で順位を付け、その他の資料をあわせて総合判定。	500	1	面接	
茂原	普	7	500	135	●		20						③→	500+135+20点満点の順位が定員70%以内を合格。残りは自A(ABC評価)の者を優先し、500+135+20点満点で順位を付けて総合判定。	500	1	—	
薬園台	普	2	500	135	15	③							●→	500+135+15点満点で順位を付け、各教科の得点、調・面を資料に選抜。	500	1	—	
八街	総	4	500	135	265	④						④	●→	学・調とも順位が定員60%以内を合格。残りは面・集を最優先し、学・調をもとに総合判定。	500	1	面接 その他検査	
八千代	普	2	500	67.5	40	②							●→	500+67.5+40点満点に面などを加味して判定。	500	1	—	
八千代西	普	2	500	135	50		100						●→	総合点500+135+50+100点満点の順位が定員80%以内を合格。残りは総合点順にその他資料を加味して判定。	500	1	面接	
八千代東	普	2	500	135	40		150						●→	500+135+40+150点満点の順位が定員80%以内を合格。残りは500+135+40+150点満点をもとに総合判定。	500	1	面接	
四街道	普	4	500	135	65→75					150			●→	500+135+75+150点満点の上位から各資料に問題ない者を合格。	500	1→3	面接→なし	
四街道北	普	4	500	270	80	④							●→	500+270+80点満点で順位を付け、面を加味して総合判定。	500	2	面接	
若松	普	1	500	135	20		④						●→	500+135+20点満点の順位が定員の80%以内を合格。残りは自を優先して500+135+20点満点の順位を付け、資料に問題ない者から合格。	500	3	面接	

「選抜の方法」は概略をまとめたものです。「学力検査で〇点未満の教科がある場合は審議の対象」「欠席〇日以上は審議の対象」などの詳細は各校の「選抜・評価方法」をご確認ください。